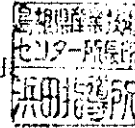


# 試 験 成 績 書

住 所 東京都中央区新川 2丁目9番2号  
 依頼者 マルキョー新川ビル  
 氏 名 旭硝子ポリウレタン建材株式会社

平成14年4月23日付けの分析等依頼申請書に基づく試験の結果は、下記のとおりです。

平成14年5月7日 島根県産業技術センター所



品 名	4月18日施工平部 (軽量防災棧瓦 J形 53B)
試験事項	
耐風圧力性能試験 (150サイクル法)	下記条件で施工した平部にずれ、割れ等は認められなかった。

試験条件	繰り返し引き上げ荷重：3600N/9枚	
	施工条件 (施工材料及び繋結材)	
	施工方法 (瓦繋結方法等)	硬質ウレタンフォーム(ポリフォーム)全数接着工法
	供試瓦	軽量防災棧瓦 J形 53B (割付寸法：230 × 278mm)
	野地板	コンクリート下地 (厚さ10mm)
	下葺き材	断熱ルーフ 53B用
	繋結材種類	下葺き材-野地板：ポリフォーム(硬質ポリウレタン樹脂) 供試瓦-下葺き材：ポリフォーム(硬質ポリウレタン樹脂)

以下余白

備考	試験方法：瓦屋根標準設計・施工ガイドライン第II編第2章標準試験による。
----	--------------------------------------

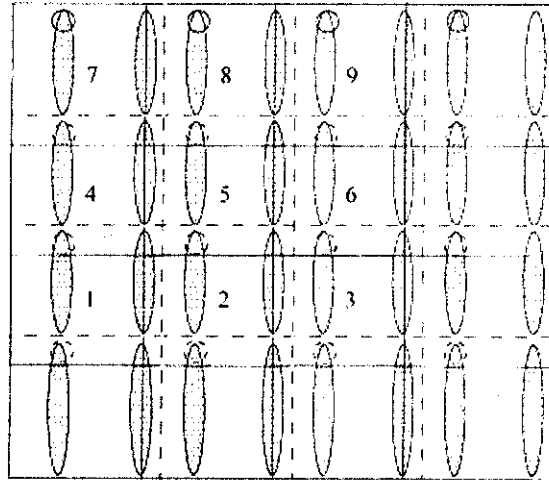
◆技術資料

○品名：4月18日施工平部（軽量防災棧瓦 J形 53B）  
 ・依頼日：平成14年4月23日、試験日：平成14年4月23日

◇設定した引き上げ荷重：3600N/9枚  
 (4020N/m<sup>2</sup>)

有効瓦枚数：14枚

◇150サイクル終了後、  
 引き上げ荷重の1.6倍の荷重を  
 載荷した結果  
 → 平部にずれ、割れ等は  
 認められなかった。



○：接着箇所  
 1～9：ロードセル番号

施工条件（施工材料及び緊結材）

施工方法 (瓦緊結方法等)	硬質ウレタンフォーム(ポリフォーム)全数接着工法
供試瓦	軽量防災棧瓦 J形 53B (割付寸法：230 × 278mm)
野地板	コンクリート下地 (厚さ 10mm)
下葺き材	断熱ルーフ 53B 用
緊結材種類	下葺き材-野地板：ポリフォーム(硬質ポリウレタン樹脂) 使用量 - 0.1kg/m <sup>2</sup> 養生期間 - 5日間 供試瓦-下葺き材：ポリフォーム(硬質ポリウレタン樹脂) 使用量 - 0.22kg/m <sup>2</sup> 養生期間 - 5日間
施工場所	株式会社アメックス協販

◇各瓦の試験載荷荷重 (150 サイクル)

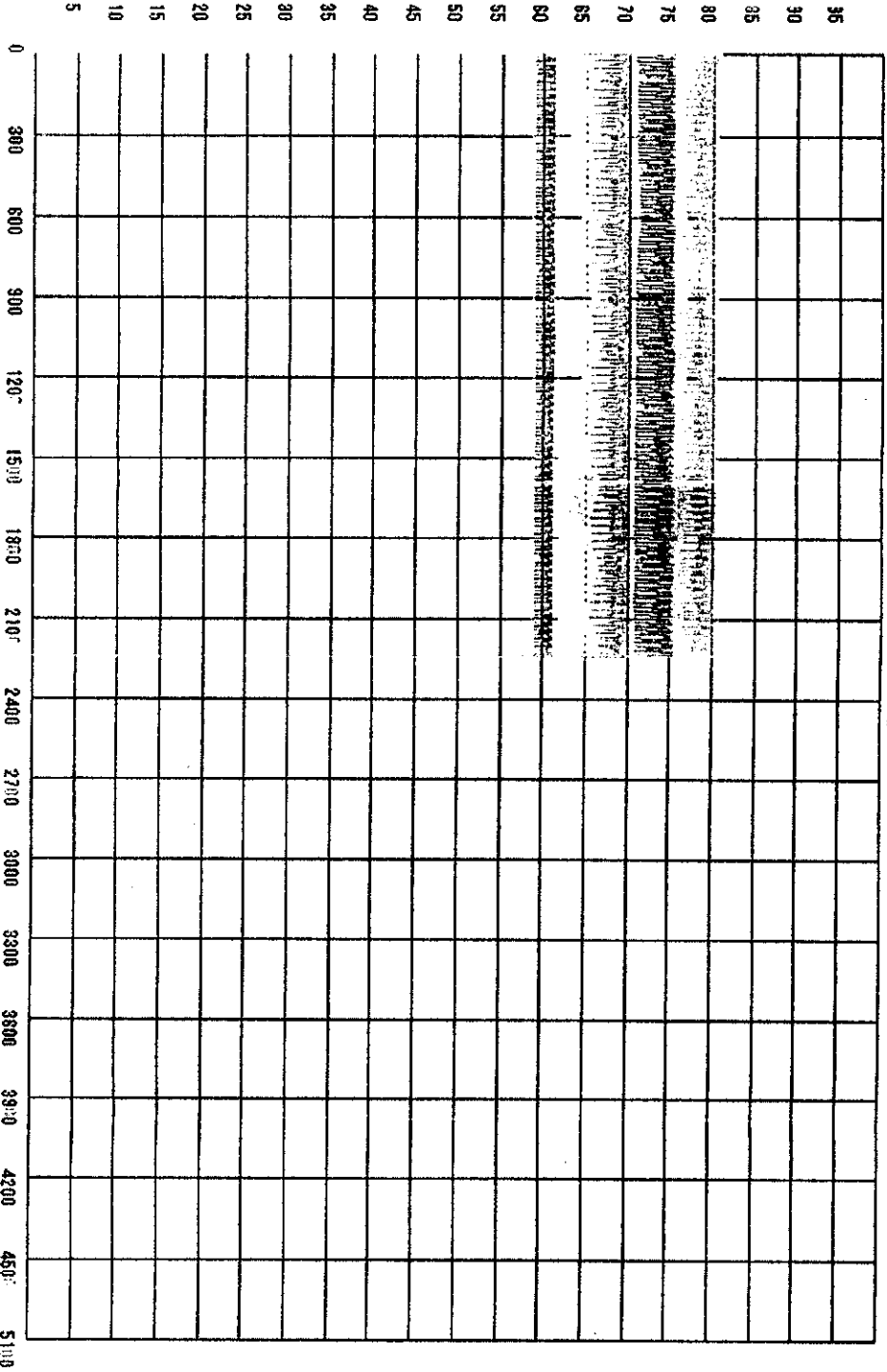
瓦 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
最大値	426	427	431	422	412	420	426	418	439

◇各瓦の試験載荷荷重 (引き上げ荷重の 1.6 倍の荷重による引っ張り)

瓦 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
最大値	681	674	682	670	653	666	680	666	692

テゾメータ mm

瓦 1~9



- \* テゾメータ 1
- \* テゾメータ 2
- \* テゾメータ 3
- \* テゾメータ 4
- \* テゾメータ 5

- \* テゾメータ 6
- \* テゾメータ 7
- \* テゾメータ 8
- \* テゾメータ 9

時間 Sec

4月18日施工平部  
 (軽塩防災棧瓦J形53B)

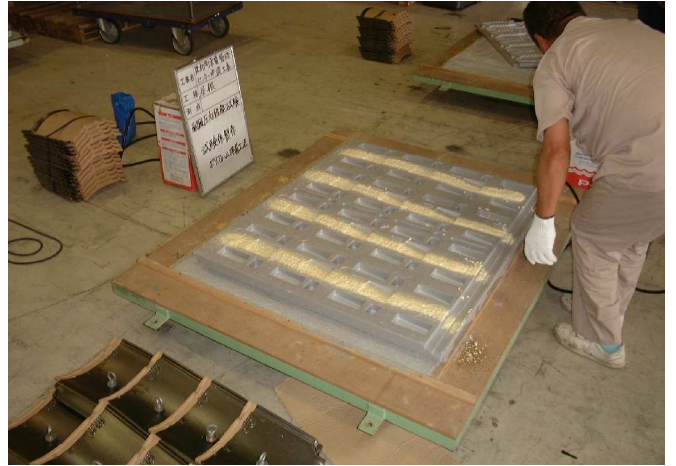
# 瓦屋根標準設計施工ガイドライン耐風圧力性能試験用の躯体作成写真

野地：コンクリート 瓦：和瓦 工法：断熱ルーフのポリフォーム接着工法

試験結果：瓦1枚当り400N以上（40kg以上）の引き上げ荷重で150回、400N×1.6倍で1回を合格。試験後瓦のずれ、割れ等は認められなかった。



断熱ルーフの裏面にポリフォームを吹き、野地に接着する



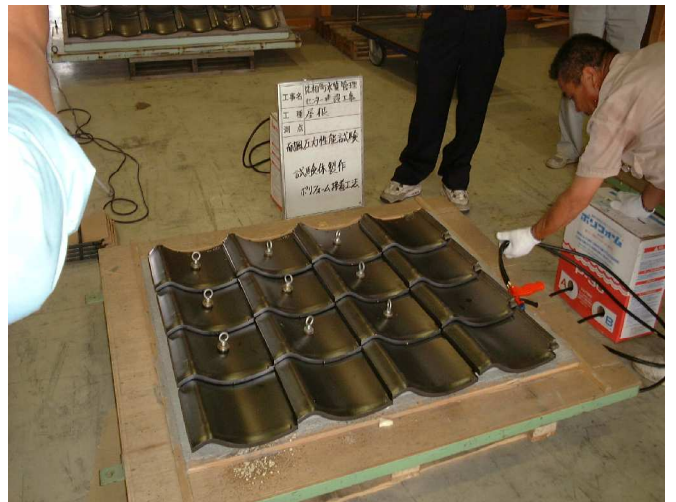
断熱ルーフの表面にポリフォームを吹く



瓦を重しとして5分程載せる



瓦を施工する



躯体完成